

第3次宗像市都市計画マスタープラン 各会議等で出された意見について

A:令和6年度第1回国土利用計画等審議会、B:令和6年度第2回国土利用計画等審議会、C:令和6年度第1回都市計画審議会

下表は、いただいたご意見に対し、計画案への反映が必要と思われる主な内容について整理しています。

【都市計画マスタープラン】

会議体区分	該当ページ		修正意見、または主な意見	市の対応方針	意見整理番号	
A	8		・将来人口推計について、社人研の推計値と既にギャップが生じているため、丁寧な分析が必要である。	・ご指摘を踏まえ、 国土利用計画及び都市計画マスタープランについては、総合計画の人口推計にあわせ ます。なお、 立地適正化計画については、国土交通省「立地適正化計画作成の手引き」に記載のとおり、社人研の推計値 を用います。	前回反映	
C	12		人口分析の中に、社会的な転入出の状況を加えた方が良い。転出状況等を把握することで、例えば若い世代の転出の要因と求められる環境との関係性が見えてくることも考えられる。	ご指摘を踏まえ、転入・転出の状況整理を追加する。	都審①	
B	50		宗像市には山がたくさんあり、縦走をする方もいるが、計画内容に山に関する記載がない。観光資源として追加したほうが良いのではないか。	国土利用計画を含め、 観光資源を列記している箇所への追記 （四塚連山など）します。	国審②	
B	52		集約型のイメージの中に医療機関の配置の規制は難しい。市内には住宅団地だけでなく、農家の方々もいるため、そのような方たちが、ある程度近距離で行けるような医療機関の配置や誘致というの、大事であると思う。	誘導施設に位置づける病院は、内科もしくは外科を有する病床数20床以上の病院を対象にしています。 生活に身近な診療所等は拠点に集約する施設として位置づけるものではないです。	—	
B	52		「極」と「拠点」の表現が混ざり合っているため統一すべきではないか。	「極」とは「 拠点 」や「 中心 」の 総称 として捉えていることから、その旨の注釈を追記する。	国審⑤	
B	55		観光客の動線に関する図の表現について、光岡交差点への道路や、岬から大島への線の表現が分かりにくい。	南北交流軸については、 交通だけでなく文化等を含めた交流を見据えているため 、概念として大きな矢印（軸）として示すものとします	—	
B	55		都市マスの将来都市構造の軸について、概念図とはいえ、実際にルートができるのではないかと、この図がひとり歩きしてしまう可能性もあるため、軸の表現について再検討していただきたい	南北交流軸については、 交通だけでなく文化等を含めた交流を見据えているため 、概念として大きな矢印（軸）として示すものとします。	—	
C	59	92	日の里団地は空室が目立ち、将来的に鉄道運輸サービスの低下が懸念される。高齢化が進まな、新たな住民が入ってくるような施策が必要である。	日の里団地は再編等により現在は高い入居率にあると認識しているが、国土利用計画及び都市計画マスタープランにも位置づけた「 団地再生 」を民間と連携しながら推進していく。	—	
A	60		・工業用地の確保にあたって緑地を確保していく記載があるが、工場立地法における基準があるなか、それを超えて確保していく考えなのか。もしそうでなければ表現に矛盾を感じる。	・ご指摘いただいた点については、基準を超えて 緑地を確保するという趣旨ではないが 、基準に基づき適正な緑地配置を促進する趣旨として記載している。	前回反映	
B	60		国道3号沿線の「大規模集客施設の立地抑制」という表現について、「商業施設の立地抑制」などの表現に留めてはどうか。そもそも立地を抑制する必要があるのか。	抑制する表現を基本とし、地域住民の生活利便に資する土地利用 について記載する。	国審①	
A	62	85 87	86 93	・ご指摘を踏まえ、以下のとおり修正する。 また、ゼロカーボンシティの実現に向けて、再生可能エネルギーを導入するなど、持続可能な都市を形成するとともに、環境負荷の低減や防災機能など、多面的な機能を有する山林や農地の保全に努める。 ①市街化調整区域に関する文言については、以下のとおり修正する。 一方、市街化調整区域などでは、無秩序な市街化の拡大を抑制するとともに、豊かな自然環境や良好な営農環境を保全していく一方で、将来にわたり地域コミュニティを存続させるために集落の活性化が必要な場合は、周辺環境や災害リスクなどを十分に考慮し、適正な土地利用を促進する。 ②グリーンインフラの視点を踏まえ、以下のとおり修正する。 ◆農業生産や洪水の調整機能、潤いのある景観形成、保水やヒートアイランドの抑制など、グリーンインフラとしての多面的な機能の発揮が期待できるため保全を原則とする。 ③流域治水の視点を踏まえ、以下のとおり修正する。 ◆河川は、計画的・広域的な流域治水対策や防災対策の整備を促進するとともに、河川空間を活用し、安らぎと潤いを与える親水空間の創出に努める。	前回反映	
B	77	87	93	雨水利用推進を図るために、各家庭に降雨を1トンほど貯留できるようにすれば、豪雨の際も水をためることができ、河川に一気に水が流れ込まないようにできるのではないか。市として補助金を出すなど検討してほしい。都市マスへの記載箇所についても検討いただきたい。	ご指摘いただいた内容については、「 流域治水 」という視点に 包含 している。	—
B	77			公園緑地に関する記述において、「公共施設のアセットマネジメント推進計画」の名称の記載箇所が適切でない。	「 公共施設のアセットマネジメント推進計画 」の記載箇所については、公園緑地だけでなく、他の公共施設も対象となることから、「 公共施設の整備方針 」など、適切な方針に位置づける。	国審③
B	88			都市マスの安全・安心の都市づくり方針「安心して生活できるコミュニティの育成」という表現について、「 育成 」ではなく「 推進 」などと表現してはどうか。	ご指摘を踏まえ、「 安心して生活できるコミュニティの形成 」に修正する。	国審⑥

会議体 区分	該当ページ		修正意見、または主な意見	市の対応方針	意見整理番号
A	89	93	・本市は高校、大学、特別支援学校(令和7年4月開講予定)を有しているが、若者の視点が抜けている。卒業後も宗像市に住んでもらえるような取組や、障がい者が安心して生活できる取組が必要。	・ご指摘を踏まえ、都市計画マスタープランの方針とあわせて、拠点や都市施設の整備の方向性として、魅力を高め定住を促進する観点、ユニバーサルデザインにより誰もが安心して利用できる観点等を整理する。	前回反映
B	92		市街地開発事業に関する記述が少ない。民間パワーも活用したまちづくりの方向性を追記していただきたい。	ご指摘いただいた内容については、 実現化方策における重点施策「(ア)中心拠点の形成」、「(エ)地域中心の形成」 にその考え方を含めて整理している。	—
B	92		都市マスの実現化方策における重点施策「(キ)多極連携の集約型都市構造の形成」については他とレベル感が合っていないように思う。	ご指摘を踏まえ、リード文に集約型都市構造に関する内容を含めるとともに、重点施策「 (ア)中心拠点の形成」、「(エ)地域中心の形成」、「(カ)公共交通を中心とした総合的な交通体系の強化 」に含めて再整理する。	国審④